

学校だより

東泉丘

令和5年(2023年)10月号
全児童数 621人(9/22現在)
豊中市立 東泉丘 小学校
校長 河上 洋介



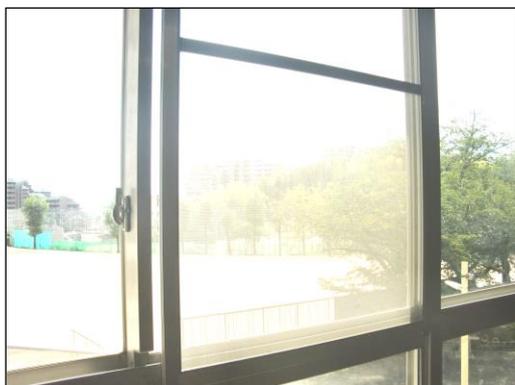
夏季休業中教職員研修のようす

夏休みの間に、本校の研究テーマ「主体的・対話的に深く学び合える子どもの育成」の実現に向けた校内研修会を実施しました。9月号に載せきれなかった分をお伝えします。

7月27日(木)の14時から16時に、大池小学校で通級指導教室を担当している 藤木桂子 先生をお招きし「みんなですすめるインクルーシブ教育」をテーマに講義いただきました。なお、この研修は、第十七中学校区の研修として、緑地小、泉丘小、第十七中にも配信をしました。はじめに、先生から「教育の主人公は子ども」として、子ども理解が出发点となって、そこから目標が決まり、自ずといつどこで何を誰とするか、といったことが決まってくる、というお話がありました。インクルーシブは「包み込む」という意味の言葉だそうです。どの子どもも受け入れ、包み込めるように、教室に限らず、学校全体で考えて、学校がどの子にとっても、安心、安全な場、インクルーシブの場となってほしいとのお話がありました。教室にすることがインクルーシブ、みんなと一緒にいけばインクルーシブということではないとのことでした。他には、「みんながんばっているのだから。」「やればできるのに。」「昨日はできたでしょ。」といった言葉は、子どもの自己否定感を大きくしていくことも教えていただきました。

夏季休業中に、先生たちの自主研修もありました。7月25日(火)の14時から「学級指導で大切にしていること」をテーマに学びました。居心地のよい学級づくりのために、例えば、ルールを徹底するためには、何のためにそのルールがあるのか、学校はどのような場所かを確認することや、自分たちの学級は自分たちで作るという意識づけが大切であること等が話し合われていました。たくさんの先生が参加し、後半は、2つのグループに分かれて座談会的に意見交換をしました。

普通教室等の網戸の設置



本館の23教室に1教室あたり2枚ずつ網戸を設置しました。ただし、網戸の落下防止のために、2階以上では内側に網戸をビスで固定する形で設置しています。モヘアの長さが足らず、窓を途中まで開けた場合に隙間ができてしまいますが、ハチやアブ等の大型の虫の侵入は防げると考えています。網戸のサッシの角は、けが防止のために斜めに削ってもらっています。

音楽室ピアノの搬入



7月25日(火)に、音楽室のピアノを入れ替えました。庄内さくら学園ができることに伴って閉校となった野田小学校の体育館にあったものをもらいました。運搬にあたっては、専門の業者がクレーンでピアノを吊り上げ、4階の音楽室に運び込みました。写真は、重たいピアノが浮き上がりするすると空に向かって吊り上げられていく様子です。

校長室の模様替え

校長室を布製のパーテーションで3つのスペースに区切っています。様々な理由から教室で過ごすことにしんどさを感じたり、教室に入りにくいと感じる子どもたちに、1人で静かにゆっくりと過ごしたり、先生と話をする事によって、気持ちを落ち着けて元気を回復してもらおう場所の1つとして使っています。学校がどの子にとっても、安心、安全な場、インクルーシブの場となるための、手立ての1つでもあると考えています。これまでも校長室を同じ様に使うことはありましたが、今回パーテーションで区切ることで、より使いやすくなったと感じています。ところで、不登校にかかる支援をするための、家庭と教室の中継点となる教室を適応指導教室と言います。豊中市では、適応指導教室は青少年交流文化館いぶきにあります。最寄り駅は阪急服部天神駅です。また、学校の中に適応指導教室を置いている学校もあります。豊中市では、今年度から校内の適応指導教室をステップルームと呼び方を変え「ステップルームスタッフ派遣事業」が始まっています。市内10校の中学校では、ステップルームに毎日スタッフが派遣され、子どもがいつでも使えるようになっています。第十七中学校にも、このスタッフが派遣されています。



<連絡やお願い>

- ・週明け25日(月)に通知表を渡します。今年度から確認印の欄を省略しています。担任、校長が通知表を確認した際、押印をしていません。ご家庭でも、通知表を確認いただきましたらそのままお子様に持たせて学校に返却ください。
- ・8月28日(月)に、市教育委員会が委託した業者によるトイレ清掃がありました。昨年度は年間2回でしたが、今年度は年間3回を予定しているとのことです。

本校の目指す学校像「ひとりひとりが輝く楽しい学校」

目指す子ども像「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い(愛)」